

日本プレイセラピー協会主催

プレイセラピー入門コース

プレイセラピーをこれから勉強したい方、大学院で学んでいて実践に役立つものとして基礎を身につけたい方、専門家としてすでに実施しているけれど正式に勉強・訓練を受けたことのない方のために、少人数で学ぶ5日間のコースを開講いたします。プレイセラピーの歴史・理論・基本技法・プレイセラピストに必要な資質などの入門的な必須知識を、理論講義だけでなくロールプレイやディスカッションを通して体験的に学びながら、今後それぞれがプレイセラピーという広く深い世界を探索していく指針を得られるようにしていきます。このコースは、“考える”左脳と“感じる”右脳、“認知を使う”前頭葉と“体験する”辺縁系・間脳、といった脳全体を使用しながらの実践に向けた学びとなります。

米国プレイセラピー協会の公式単位認定プログラムとして認められていますので、ご希望の方には終了証明書をお渡します。

【日程】5日間で1つのコースです。

- ① 2014年 9月6日(土) 10時～17時
- ② 2014年 9月7日(日) 9時半～16時半
- ③ 2014年11月8日(土) 10時～17時
- ④ 2014年11月9日(日) 10時～17時
- ⑤ 2014年12月13日(土) 10時～17時

* 各日とも1時間の昼休みが入ります

【参加条件】心理・教育・保育・医療・看護・福祉の大学院在学以上、または、プレイセラピー実施経験者

【定員】10～16名 * 最少開催人数10名。中止の場合、振り込まれた参加費は全額返金いたします。

【参加費】全日程参加で76,000円(大学院生は71,000円)

【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木) 予定

*** プログラム内容 ***

- 遊びとは/遊びの力
- 愛着/脳/発達
- プレイセラピーとは/歴史/理論
- 技法(トラッキング・伝え返し・感情反映・責任を返す・質問への対応・制限設定)
- アセスメント
- 初回面接
- プレイセラピスト/逆転移/文化
- おもちゃ/プレイセラピー・ルーム/構造
- 親・他機関との連携
- セルフケア/スーパービジョン
- 終結

* 以上の内容を5日間で網羅していきます(順不同)

《 お申し込み・お問い合わせ 》

- * 日本プレイセラピー協会ホームページ (<http://www.ja4pt.org/>) にてお申し込み・お問い合わせ下さい。
- * お申し込みを受理しましたら参加費振込み口座をお知らせいたしますので、お振込みをお願いいたします。お振込みをもって正式受付となります。確認後に正式受理通知をメールいたします。
- * ご入力のメールアドレスにお間違いがありますと、こちらからのご連絡ができなくなりますので、ご注意ください。
- * 振込口座のお知らせや正式受理通知などがしばらくお待ちいただいても届かない場合には、通信障害等の可能性がございますので、お手数ですが再度メールにてお問い合わせさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。
- * お振込み後は、お申し込み者様のご都合によるキャンセル・返金はいたしかねます。ご了承ください。

締め切り：2014年6月30日（月）

- * 先着順にて受付。定員になり次第、締切日前でも締め切らせていただきますので、予めご了承ください。
定員空き状況はホームページにてご確認ください。

《 研修証明書発行 》

- * 本講座は、米国プレイセラピー協会において認定された講師による認定証明書発行対象のプログラムとなっています（APT approved provider : 08-225）。ご希望の方には、米国プレイセラピー協会の研修証明書を発行することができます。認定プレイセラピストの資格を取得する際に必要研修時間として認められます。発行手数料は3000円です。お申し込み時に要・不要を記入し、要の方はお振込み金額合計に3000円をご加算ください。
- * 臨床心理士ポイント申請予定です。

《 講師紹介 》



大野木嗣子先生 (Psy,D.)

カリフォルニア・スクール・オブ・プロフェッショナル・サイコロジー（サンディエゴ）臨床心理学博士号取得。現在東京都港区で開業、国際基督教大学にてプレイセラピーの客員講師。日本プレイセラピー協会共同創設者・理事、International Mental Health Professionals Japan(IMHPJ)元理事、Nana's Children Mental Health Foundation 顧問、California School of Professional Psychology,日本校の修士論文教員、西町インターナショナルスクールスクールカウンセラーなどを務める。子ども、家族、プレイセラピー、子育て支援や多文化的問題を専門とし、ワークショップやセミナーも多数開催している。平成16年のスマトラ沖地震によるスリランカの津波の災害時にOperation USA と米国プレイセラピー協会の支援の下で直接心理的な援助を行う。平成23年の東日本大震災では、日本プレイセラピー協会が日本ユニセフ協会と協同で災害支援を行っている。幼少期および成人してからも日本とアメリカ両方で過ごしたために、完全なるバイリンガル、バイカルチュラルである。

主催：日本プレイセラピー協会 <http://www.ja4pt.org>

共催：ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングオフィス

